

=====

学会情報：新規入会・お知らせ・投稿・イベント等のご案内

=====

■新規入会のご案内■

- ・ウェブサイト上からご入会できます。
会費は年度制（4月～翌3月）です。
入会希望の方はこちらからお願いいたします。
<https://www.nkg.or.jp/nyukai/>

ご不明な点は下記へお問合せください。

会員サービス係 Tel：03-3262-4291 E-mail：kaiin@nkg.or.jp

※担当者がテレワーク等で事務所不在にてお返事が遅れることがあります。

- ・賛助団体会員リンク集

<https://www.nkg.or.jp/gakkai/mokuteki/sanjo/>

■お知らせ■

- ・2023年度宮地裕基金人材育成研修講座応募選考結果報告

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_01-2.html

- ・NKG TV シリーズ「日本語教育の参照枠とCEFR」第4回

「新制度と『日本語教育の参照枠』～現場はどう考える？～」動画公開

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_03_31-1.html

- ・2022年度関西支部集会開催報告（3/18実施）

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_14-1.html

- ・2020年度大会予稿集無料公開

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_01-1.html

- ・日本語教育学の構造化」ワーキンググループの報告書公開

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_20.html

- ・「樹形図ワークショップ」開催報告（3/25実施）

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_19-1.html

- ・日本語教育について知るサイト「むすぶ」でも各種記事更新

<https://www.nkg.or.jp/musubu/>

- ・日本語教育学会 Facebook <https://t.co/FCSBmkfR2q>
- ・日本語教育学会ツイッター <https://twitter.com/NKGkouhou>
※日本語教育関連の報道情報については、上記ツイッターで
毎月2回(1日・15日頃)配信していますので、ぜひご覧ください。
- ・学会誌『日本語教育』ツイッター <https://twitter.com/NKGgakkai>
- ・各種教育機関等の日本語教師募集情報をご案内しています。
<https://www.nkg.or.jp/boshu>

- ・各種催しの新型コロナウイルス感染拡大の影響について
日本語教育学会主催各行事の開催可否については、慎重に検討を進めております。決定事項は、逐次、学会ウェブサイトにてお知らせいたします。なお、中止等の場合も、参加者が自身で手配された旅費・宿泊費等のキャンセル料等につきましては弊会では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■助成募集■

- ・【5/31 締切】2023年度日本語教育グローバル人材奨励プログラム募集
海外で日本語教育現場の人々と研究・教育に関する活動をしてみたい若手研究者・実践者を応援するプログラムです。なお、本プログラムは、一般社団法人尚友倶楽部の助成を受けて実施しています。春季大会2日目の昼休みに説明会を開催いたします。
https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_01.html

■発表募集■

- ・【5/15 締切】支部集会「交流ひろば」出展募集
応募はメール添付です。日本時間17時までに指定用紙にてお送りください。

九州・沖縄支部集会

日時：7月8日(土)

会場：熊本学園大学(対面開催)

https://www.nkg.or.jp/event/shibu/20230201_2290734.html

北海道支部集会

日時：7月15日(土)

会場：北海道大学(対面開催)

https://www.nkg.or.jp/event/shibu/20230315_2325137.html

- ・【6/25 締切】2023年度秋季大会
日時：11月25日(土)・26日(日)
会場：山形テルサ(対面開催)

https://www.nkg.or.jp/event/taikai/20230401_2344406.html

■参加募集■

・【5/15 事前参加登録締切】2023 年度春季大会

日時：5月27日（土）・28日（日）

会場：オンライン開催

参加費：会員でない方 5,000 円 会員 3,500 円

会員（有効学生証提出済みの方）2,000 円

※有料プログラムは当日参加はできませんので必ずマイページより事前参加登録を行ってください。

※大会プログラム、大会ポスター、発表要旨、託児助成などはこちらから。

https://www.nkg.or.jp/event/taikai/20221006_2195667.html

・【5/12 正午締切】春季大会「ぶらさ da わかば」参加者募集

※お申込みには大会事前参加登録が必要です。

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_16.html

・【春季大会 事前参加登録不要・無料プログラム】

以下の3つのプログラムについては当日、どなたでもご参加できます。

Zoom の URL などは5月19日（金）から大会サイトにて公開いたします。

◆一般公開プログラム「境界の外側から見える日本語教育学—異なる専門分野から見えてくるもの—」

日時：5月27日（土）10：00-12：00

https://www.nkg.or.jp/event/taikai/20230222_2307291.html

◆日本語教育研究・実践ネットワーク（Net-J）学会・研究会紹介ブース

日時：5月27日（土）12：00-13：00

※下記の6団体が出展します。

<https://www.nkg.or.jp/.assets/net-j.pdf>

◆賛助団体会員出展ブース

日時：5月27日（土）15：30-17：20

https://www.nkg.or.jp/news/2023/2023_04_19-2.html

■学会誌『日本語教育』184号発行■

<閲覧・購入について>

◆2021 年度刊行分以降の掲載論文の要旨（和文・英文）は無料公開中です。

掲載論文本体についても、会員でない方も閲覧・購入が可能ですので、ぜひご利用ください。

<https://www.nkg.or.jp/gakkaishi/yomu/>

◆179号～184号の掲載論文は、マイページからダウンロード可能です。

<https://m4.members-support.jp/NKG/>

本年度会費の納入が完了している会員の方は、無料です。会員でない方もマイページで

「新規ユーザ登録」（無料）をしていただければ、以下の価格にてご購入いただけます。

1論文あたり：550円（税込）、1号あたり：2,750円（税込）

※いずれも決済時に別途手数料が必要です。

◆137号以降、刊行後2年を経過した掲載論文はJ-STAGEで閲覧可能（無料）です。

但し、執筆者からの公開許可を得たものが対象となります。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/nihongokyoiku/-char/ja/>

◆冊子版の購入方法（会員・非会員共通）：

全国の書店よりご注文いただくか、株式会社凡人社の麹町店または通信販売（送料別途）にてお求めいただけます。冊子版の価格は、以下のとおりです。

166号以降：3,800円＋消費税／『日本語教育』165号まで：2,500円＋消費税

<掲載論文（収録順）>

【特集】ともに学び未来を描くキャリア形成の現場

〔寄稿論文〕

- ・外国にルーツのある子どものキャリア支援—小中学校の取り組み—（佐藤郡衛）
- ・外国につながる若者の居場所づくりとキャリア支援
—都立定時制高校における三者協働の実践—（徳永智子・角田仁・海老原周子）
- ・大学における留学生のキャリア教育—多様な留学生とつくる豊かな学びの場—（丸山千歌）
- ・生活者としての外国人のキャリア形成—インドネシア人移住労働者コミュニティの事例—（吹原豊）
- ・東南アジア5か国比較と調査に見るフィリピン人日本語教師のキャリアと成長（古川嘉子）

【一般投稿】

〔研究論文〕

- ・中国語を母語とする日本語学習者の多義動詞の未知拡張義の意味推測の正確さ
—習熟度、拡張義の種類及び文脈情報量に着目して—（崔暁文）
- ・上級日本語学習者の語りは母語話者とどう異なるのか
—語りを肉付けする評価方略に着目して—（小口悠紀子・陳真）

〔調査報告〕

- ・依存距離に基づく日本語学習者言語の統語的複雑度の研究
—日本語学習者コーパス（I-JAS）作文資料の場合—（李文平・劉海濤・夏イ昕*）
*イの正しい漢字表記につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

https://www.nkg.or.jp/gakkaishi/yomu/2023_04_25.html

- ・SNSの「形式面」に見られる特徴とポライトネス効果—接触場面における勧誘談話に着目して—
（稗田奈津江）

=====
NKGメールマガジンへの情報提供
=====

締切は毎月20日、配信は1日が基本です。内容確認等の上、メールマガジンに掲載します。

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.nkg.or.jp/mailmagazine>

<フォント>このメールマガジンは、等幅フォントでご覧ください。

■□—————□■

<発行者> 公益社団法人日本語教育学会 <https://www.nkg.or.jp/>

<編集者> 広報委員会

<発行年月> 2023年5月1日

■□—————□■